

# 週刊ブロック通信

コンクリート  
製品の業界紙  
週刊ブロック通信

購読、広告の  
お申し込みは

TEL 03-3431-2811  
FAX 03-3578-3450  
kjp@msj.biglobe.ne.jp

発行所 公共事業通信社 東京都港区新橋6-22-6 JOYOビル7F 電話 03(3431)2811(代)  
編集発行人 黒澤隆寿 購読料1カ年39,000円+税 前納 毎週月曜日発行 FAX 03(3578)3450

(株)公共事業通信社

## ドローンで維持補修

### MIT発ベンチャーと提携

會澤高圧

ジリスクER7」  
を施工する技術  
の確立を目指し  
ている。

ドローンの動  
力源はバッテリー

會澤高圧コンクリート(本社、  
北海道苫小牧市若草町三ー一四、  
社長 會澤祥弘氏)は、ドローン  
を使ったビジネスに本格参入する。  
米マサチューセッツ工科大学  
(MIT)発の航空宇宙ベンチャー、  
トップフライトテクノロジーズ  
(TFI)と提携してTFIの特許  
「ハイブリッド電力システム」を

搭載した長距離・大容量の産業用  
ドローン(UAV)を共同で開発し、  
コンクリート構造物を中心に監視  
や維持補修等のサービス事業を展  
開する。

ーが主流だが、飛行時間が最長で  
も15分程度と短くバッテリー交  
換が煩雑だ。このため同社は、遠  
隔地のコンクリート構造物にドロ  
ーンでER7を自動塗布する目視

新型機の開発により、地上デー  
タをドローンから収集・統合・蓄  
積・更新して顧客に付加価値の  
高い情報を提供し続ける「地理情  
報システム」(GIS)サービ  
スが展開できるようになる事から、  
コンクリート系のインフラ点検、  
だけでなく、大規模農地の育成状  
況をモニタリングしながら農薬を散  
布したり、長大な送電線網を目視  
外で自動監視するなど、様々な用  
途に活用できるとみている。

同社はバクテリアの代謝機能を  
活用した自己治癒コンクリート  
「パジリスク」をインフラメンテ  
ナンス分野の中核事業と位置付け

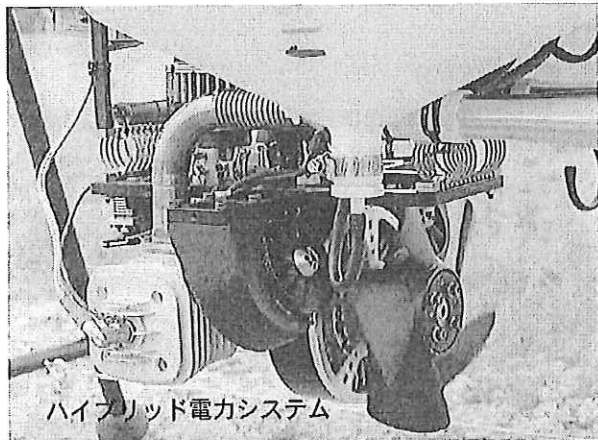
て実用化に向けた動きを  
加速しており、事業展開  
のひとつとしてドローンを  
使い液体ひび割れ補修剤「バ

給油で長時間の飛行が可能で、運  
行管理の手間を大幅に削減する事  
ができる。さらに安  
定飛行の妨げとなる  
エンジンの振動を抑  
制する機能や、優れ  
たセンシング技術に  
より悪天候でも安定  
した飛行を実現する。

両社は燃料やセンサ  
ー類を除き、最大10  
kgの積荷を抱えて最  
長1時間の継続運航  
が可能な新型機2機  
を今夏までに開発す  
る計画。機体には、  
①レーザー照射の  
点群データを元に、  
地形図や構造物の3D画像を作成  
する高性能ライダー②高解像度④  
IC電子光学カメラ③コンクリー  
ト表面の浮きや剥離を解析するの  
に使うサーマルイメージングカメ  
ラ(サーモグラフィ)④コンピ  
ュータユニット等を搭載する予  
定。これらの搭載装備だけで85  
10kgあり、機体総重量は33kgに達  
する見通し。



ハイブリッド型ドローン



ハイブリッド電力システム

①レーザー照射の  
点群データを元に、  
地形図や構造物の3D画像を作成  
する高性能ライダー②高解像度④  
IC電子光学カメラ③コンクリー  
ト表面の浮きや剥離を解析するの  
に使うサーマルイメージングカメ  
ラ(サーモグラフィ)④コンピ  
ュータユニット等を搭載する予  
定。これらの搭載装備だけで85  
10kgあり、機体総重量は33kgに達  
する見通し。

バス停バリアレス縁石  
岡山市内で適用開始  
ブリヂストン

新製品・新技術多数  
来場者1万6500人  
EE東北'19

[総会フラッシュ]  
W2R工法協会  
舗装ブロック工業会  
建産協

機体の運行や保守点検は、国内  
ドローン業界のバイオニアで全国  
28カ所の認定教習所を持つT E  
AD(群馬県高崎市)と提携する  
計画。